

# 山行報告書

日時	2017年 5月13日(土)～14(日)	天候	13日 曇のち晴れ 14日 晴れ
山名	背振山系(瑞梅寺山の家) 県連登山学校 開校式、机上講習、実践講習		
CL	木下講師	参加者	講師:高野、高田、高藤 受講生:遠田、大久保、岡崎
(コース)	<p>5/13(土):10:30～18:00 開校式、基礎登攀技術訓練          18:00～19:00 夕食          19:00～21:30 必要装備の開設          22:00～24:00 懇親会</p> <p>5/14(日):06:30～8:00 起床、朝食          08:00～13:00 ファーストエイト、クライミング装備、確保理論、ラッパル          13:00～13:45 昼食          13:45～17:00 クライミングシステム          17:00～18:00 反省会、次回のカリキュラム説明</p>		
(コメント)	<p>開校式で登山学校の目的について話された中で、福岡県連に登録されている会員数は約1,000人との事。また福岡県連での山行での事故件数が20件程あり、単純計算で50人に1人が事故にあっている事を聞かされ件数の多さに驚き、改めて事故の無い登山の大切さを実感しました。</p> <p>登山学校では決して個人の技術を高めるだけの場ではなく、事故を起こさない登山を普及させる為の知識を学ぶ場と認識し、学んだ事を伝えて行く立場になれるように努力していきたいと感じました。また装備についてはカラビナの強度が横向きの場合や、しっかりと締まっていない場合の時の強度がこんなにも落ちるのかと言う事や、ロープが伸縮する事により落下時の衝撃を吸収している事。また同じロープで耐墜落回数の制限がある事も教えて頂いた事で、事故を未然に防ぐ事に繋がると感じました。常に山を甘くみない事が必要で積極的にロープを使う事で事故を減らせる事も学びました。</p> <p>登山学校を卒業する頃には自分が自然にロープを出して使う事が出来るよう、同行者にスリングで簡易ハーネスを作り、確保してあげられるようになりたいと思いました。ロープワークもかなり理解出来ましたがすぐ忘れそうなので繰り返し練習が必要だと感じました。カラビナの持ち方は常に同じ持ち方にした方がいいとの注意を受けました。また相手をビレイする時もビレイデバイスを予め正しい方向にセットしておく事を注意され、事前にセットしておく事で慌てず作業が早くなる事や、ビレイの操作なども改めて基本から学べた事によりかなり自信が持てました。 (記:岡崎)</p>		
費用概算	<p>(交通費/人) 1,000円(瑞梅寺山の家まで)運転者以外2人          (その他/人)</p>		

(2016.01.27改訂)